

1. 研究の名称：「ヒト胎児用超高分解能 MRI の開発と標準胎児脳高精細アトラスの構築」
2. 京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しているものです。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
＜研究責任者＞
京都大学医学研究科附属先天異常標本解析センター・教授・山田重人
＜共同研究施設＞
筑波大学物理工学系・准教授・寺田康彦
4. 研究の目的・意義
先天異常標本解析センターに所蔵される貴重なヒト胎児標本を用い、発生過程の三次元的な観察と、画像データを元に定量的解析を行い、発生過程において、どの部分がどの時期にどの程度成長するのかについての具体的データを得ること目的としています。本研究で、ヒトの胎児期における脳内部構造の形成過程を網羅的に計測することにより、ヒト特異的な神経基盤の由来を胎児期から解明する基礎データを得ることとなります。標準胎児脳の高精細 3 次元アトラスは、胎児の超音波診断の基盤データともなり、周産期医学や出生前診断の分野においても利用可能となるなど、医学、社会的意義は大きいと考えられます。
5. 研究実施期間
研究機関の長の実施許可日から 2028 年 3 月 31 日
6. 対象となる試料・情報の取得期間
1961 年の先天異常標本解析センターコレクション収集開始から、2001 年 3 月までに協力産婦人科医から先天異常標本解析センターに提供を受けたヒト胚子・胎児標本 45000 点。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法
京都大学に所蔵する試料について、共同研究施設へ提供し画像を撮像します。撮像された画像を研究グループ内で共有し、画像解析を行います。
8. 利用または提供する試料・情報の項目
本研究で試料を撮像し、その画像情報のみを研究に利用します。
9. 利用または提供を開始する予定日
研究機関の長の実施許可日以降
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
筑波大学物理工学系・准教授・寺田康彦
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
・山田重人
12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

介入や研究対象者の観察を行わない研究計画ですが、提供された胚子または胎児を研究に使用することについて同意撤回の連絡を受けた際には、標本番号を調べ、対応するデータを速やかに特定し削除します。ただし、すでに分析されたデータや報告された研究成果などは取り消すことができません。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

データベースはパスワードで保護されており、公開はローカルであるため外部よりのアクセス、部外者の閲覧はできません。研究への問い合わせは相談窓口への連絡によります。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者：科学研究費補助金・基盤研究 B「革新的マルチモーダル定量 MRI によるヒト胎児脳中枢神経系の発達ダイナミクスの解析（24K00891）」

2) 提供者と研究者との関係

科学研究費補助金による研究であり、資金提供者が研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与しません。

3) 利益相反

利益相反について「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター

研究責任者 山田重人

(Tel) 075-753-4345

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

(Tel) 075-753-9301 (E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp